

〔資料提供先〕 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、三原新聞記者クラブ、尾道市記者クラブ、福山市政記者クラブ、府中市役所記者クラブ

② 一般国道2号木原道路が 令和3年3月14日に開通します

現在工事中の木原道路（尾道市福地町～三原市糸崎8丁目、延長3.8km）が令和3年3月14日に開通しますのでお知らせします。

また、木原道路に設けるインターチェンジの名称が正式に決定しましたのでお知らせします。

○開通により期待される効果

- ①交通混雑の緩和
- ②交通安全性の向上
- ③災害時における代替路の確保
- ④生産性の向上
- ⑤救急医療の支援

○インターチェンジ名称

決定した名称	所在地	これまで使用していた名称（仮称）
福地IC	広島県尾道市福地町	福地IC

なお、開通式および通行が可能となる時間については、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。

（問い合わせ先）

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 桑嶋 弘志（くわじま ひろし）

（工事担当）工 務 課 長 塚本 勝幸（つかもと かつゆき）

（広報担当）調査設計第二課長 安食 貴仁（あんじき たかひと）

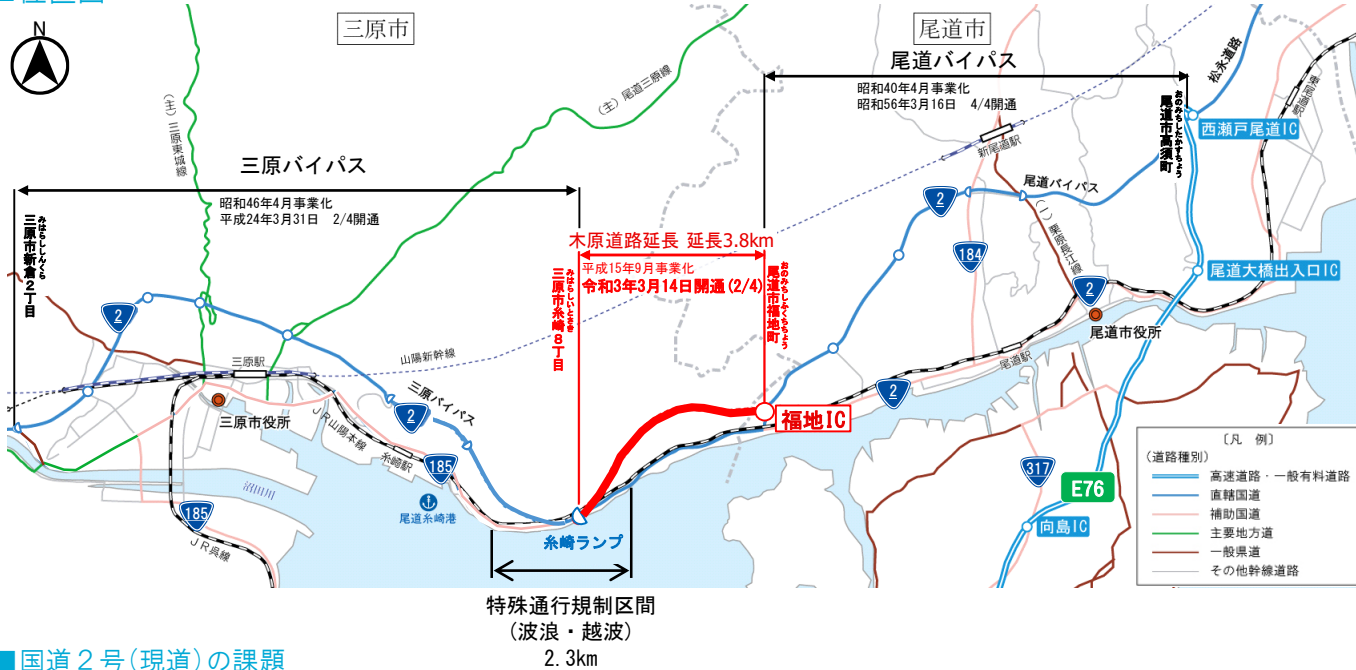
TEL：(084) 923-2627（ダイヤルイン） FAX：(084) 923-2558

福山河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

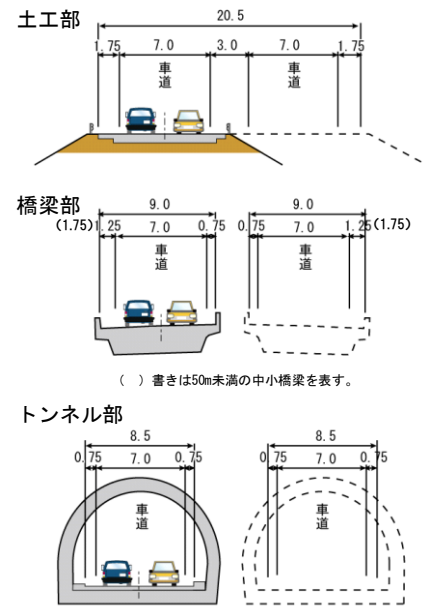
事業概要

- 一般国道2号木原道路は、尾道市福地町から三原市糸崎8丁目に至る延長3.8kmの自動車専用道路です。
- 木原道路の開通により、交通混雑の緩和、交通安全性の向上、災害時における代替路の確保、生産性の向上、救急医療の支援が期待されます。

位置図



標準断面



単位 m

国道2号(現道)の課題

渋滞



朝ピーク時を中心に渋滞が発生し、円滑な物流を阻害

交通事故



死傷事故率が全国平均を上回る箇所が存在し、死亡事故も発生

波浪・越波



特殊通行規制区間が存在し、災害時には通行止めの可能性があり、道路が脆弱

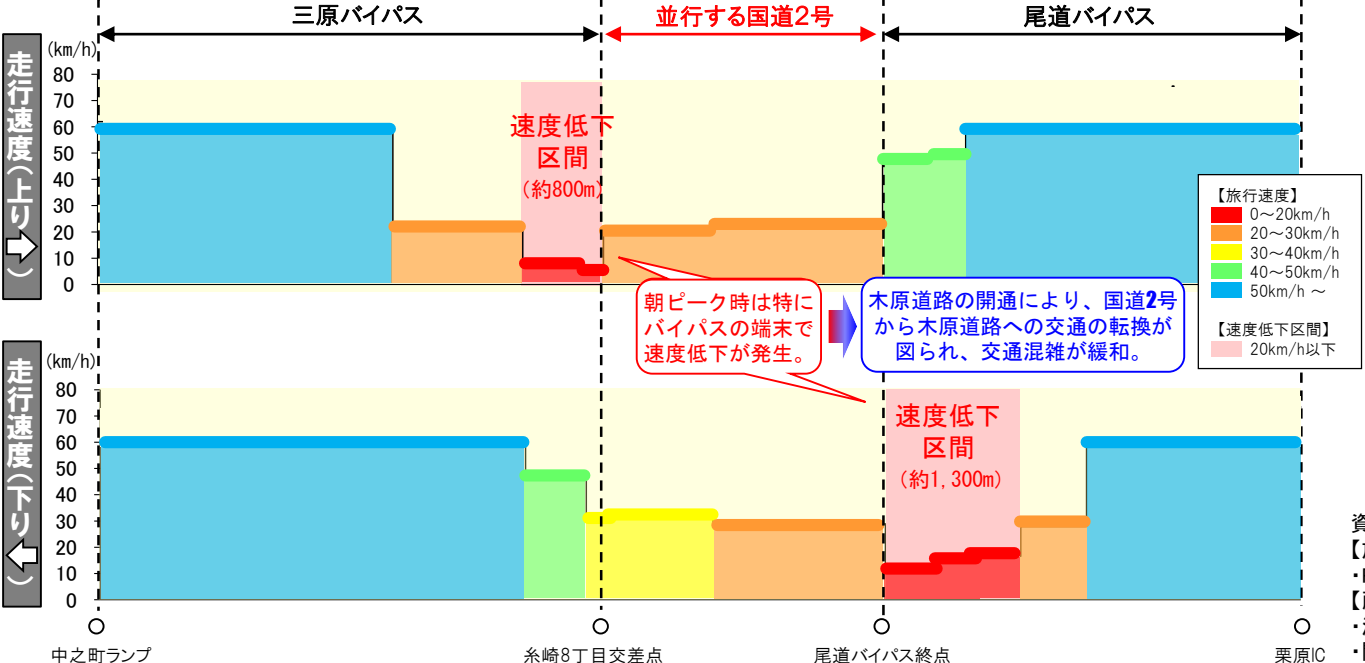
計画諸元

起 終 点	起点：広島県尾道市福地町 終点：広島県三原市糸崎8丁目
計 画 延 長	延長3.8km
車 線 数	暫定2車線整備

整備効果①：交通混雑の緩和

- 並行する国道2号は、通勤時間帯である朝ピーク時では、特に著しい速度低下が発生しており、円滑な交通を阻害しています。
- 木原道路の開通により、国道2号から木原道路への交通の転換が図られ、交通混雑の緩和が期待されます。

【並行する国道2号の朝ピーク時旅行速度】



【木原道路開通による所要時間の短縮】

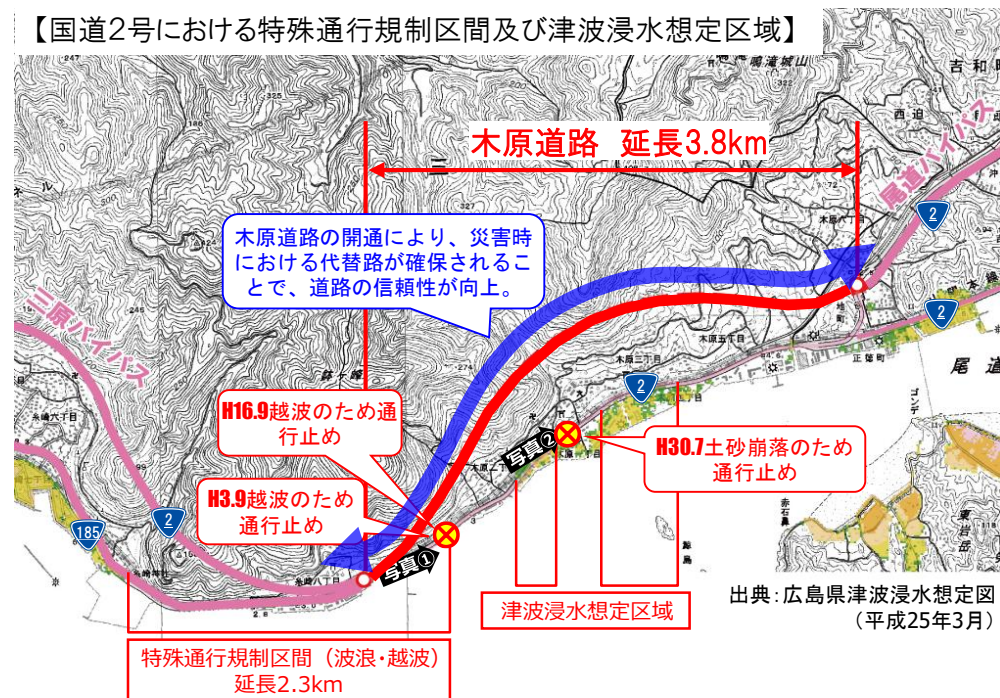


資料：
 【旅行速度】 ETC2.0プローブデータ
 ・R1.7平日朝ピーク時(7-9時)の平均
 【所要時間】 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
 ・混雑時旅行速度より算出
 ・開通後の木原道路区間は、規制速度70km/hより算出

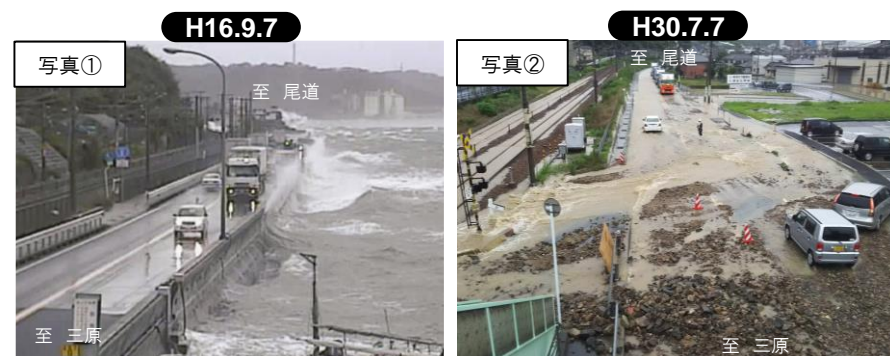
整備効果③：災害時における代替路の確保

- 並行する国道2号は、異常気象時**特殊通行規制区間**（波浪・越波）及び**津波浸水想定区域**が存在します。
- 平成30年7月豪雨時には、約1時間半にわたり全面通行止めが発生しました。
- 木原道路の開通により、災害時における代替路が確保されることで、**道路の信頼性が向上**します。

【国道2号における特殊通行規制区間及び津波浸水想定区域】



【当該区間における通行止め発生事例】



【木原道路開通による災害時の迂回の解消】



【並行する国道2号における災害等による通行止め実績】

発生年月日	規制理由	規制内容	規制時間
H3.9.29	台風19号に伴う高潮による越波	全面通行止め	約1時間半
H16.9.7	台風18号に伴う高潮による越波	全面通行止め	約1時間半
H30.7.7	平成30年7月豪雨による土石流・土砂崩落	全面通行止め	約11時間半

資料：福山河川国道事務所資料

- 津波浸水想定区域
- 国道2号の津波浸水想定箇所
- 開通前の迂回路
- 開通後の迂回路

資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査、津波浸水想定データ(国土数値情報)
 ※迂回ルート(R2.2.20 企業ヒアリングより)
 ※所要時間は、混雑時旅行速度より算出
 (木原道路整備区間は規制速度70km/hより算出)

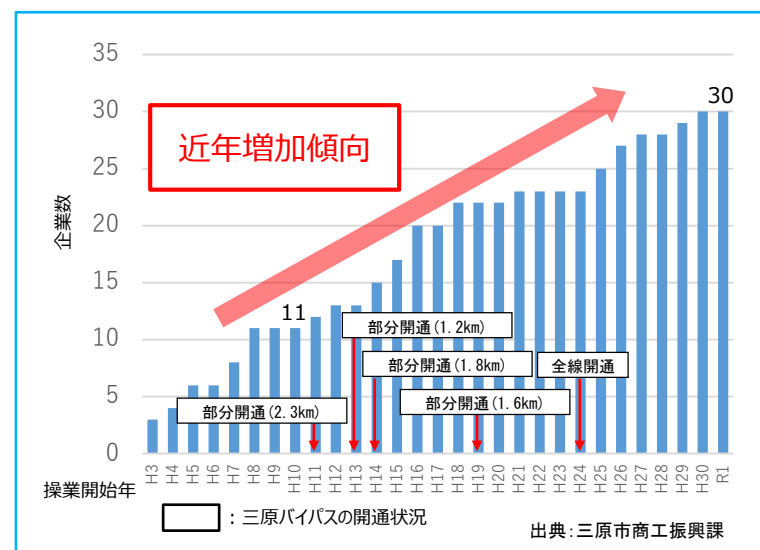
整備効果④：生産性の向上

- 三原市は製造業が盛んな地域であり、三原西部工業団地といった市内の産業団地への入居企業数は、増加傾向です。
- 三原市立地の製造事業所では、国道2号の通勤混雑を避けるため、到着時間の前倒しを行うなど非効率な輸送を行っています。
- 木原道路の開通により、隣接バイパスと一体となったネットワークが形成され、さらなる生産性の向上が期待されます。

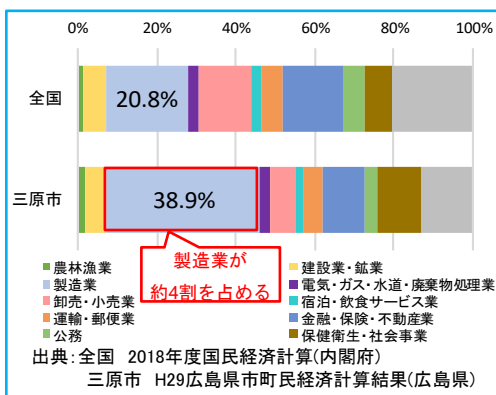
【三原市立地製造事業所から東方面への配送】



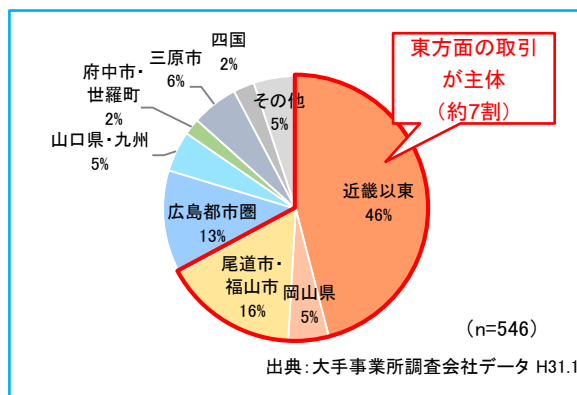
【三原市内の産業団地への入居企業数(累積)】



【総生産額の業種別内訳】



【三原市立地企業の取引先方面別割合】



【三原市立地大手製造事業所の声】

- ドライバーは、国道2号の通勤ラッシュを避けて6時頃に到着して待機しており、拘束時間が増加しています。
 - 尾道バイパスと三原バイパスの間が渋滞しており、目的地までの配送は1日2往復が限界となっています。
 - バイパスが繋がれば、3往復も可能となるかもしれません。また、渋滞が解消されることで、効率のよい輸送が行えると期待しています。
- (大手製造事業所A社ヒアリングH31.1)
- 三原バイパスの全線開通後、コスト削減や生産性の向上、リードタイムの短縮を目的に、三原市内の工業団地に新たに工場を立地しました。
- (大手製造事業所B社ヒアリングH28.12)

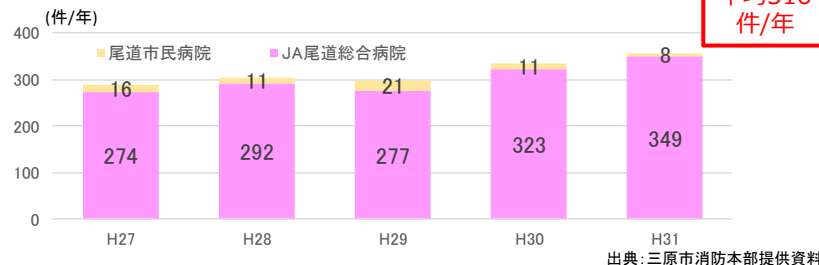
整備効果⑤：救急医療の支援

- 尾道バイパス周辺に位置するJA尾道総合病院は三次救急医療施設に指定されており、地域の拠点病院として位置付けられています。
- 三原市消防本部管内からJA尾道総合病院・尾道市立市民病院への救急搬送は、年平均316件行われており、そのほとんどが木原道路並行の国道2号を利用しています。
- 木原道路の開通により、地域の拠点的な医療施設へのアクセス性が向上し、救急医療への支援が期待されます。

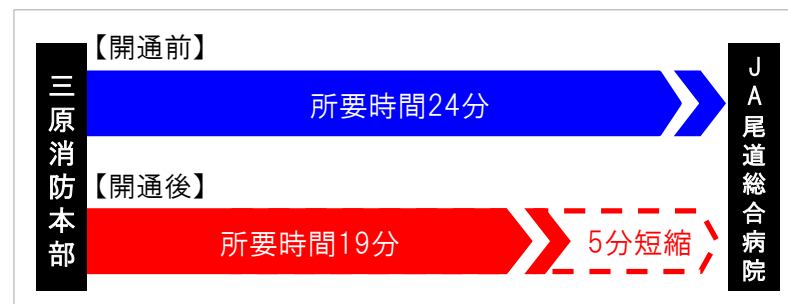
【三原市消防本部管轄内からの主な搬送状況】



【JA尾道総合病院・尾道市立市民病院への搬送件数】



【三原市消防本部管轄内から救急医療施設への所要時間短縮】



資料：【所要時間】平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
 ・混雑時旅行速度より算出
 ・開通後の木原道路区間は、規制速度70km/hより算出

【尾三地域内の政策的医療機関等一覧】

地域医療支援病院	三原市医師会病院, JA尾道総合病院, 尾道市立市民病院
災害拠点病院	興生総合病院, 三原赤十字病院, JA尾道総合病院
がん診療連携拠点病院	JA尾道総合病院(国指定), 尾道市立市民病院(県指定)
小児救急医療拠点病院	JA尾道総合病院
地域周産期母子医療センター	JA尾道総合病院
臨床研修指定病院	興生総合病院, JA尾道総合病院, 尾道市立市民病院, 公立みつぎ総合病院

【出典】広島県保険医療計画

【消防署の声】

- 救急車両は主に国道2号を通行していますが、木原道路の区間は国道に並行する代替路が無いいため、事故等で通行止めが生じた場合、木原地区への救急活動が出来なくなることから、木原道路はまさしく「生命線」となる区間です。
- 木原道路が整備されることで、朝夕の慢性的な渋滞が解消され、現場への到着や、医療機関への搬送がスムーズになると期待しており、早期開通を望んでいます。(三原市消防本部ヒアリングR2.1)

